# ことばのおたより

一般財団法人　三宅医学研究所
てふてふ
令和4年　6月

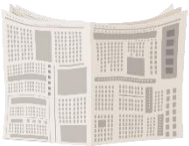
雨の多い季節になりました。お家で過ごす休みの日、お子様との遊び方に悩まれる保護者の方もいらっしゃるかと思います。

ことばを育てる土台には「規則正しい生活」や「体の発達に沿った十分な運動」、そして楽しい遊びを通した「情緒の発達」が欠かせないと言われています。そこでオススメしたいのが、体を使った遊び。力を加減すること、バランスを取ること、姿勢を保つことなどを身につけながら、大好きな家族と楽しく遊ぶことで情緒も安定します。

お馬さんごっこや、大人がトンネルになってお子様にくぐってもらう、床にマスキングテープを貼って平均台のように歩いてみる、風船を的に向かって投げてみる、など室内で楽しむ体遊びもたくさんあります。ぜひ試してみてくださいね。

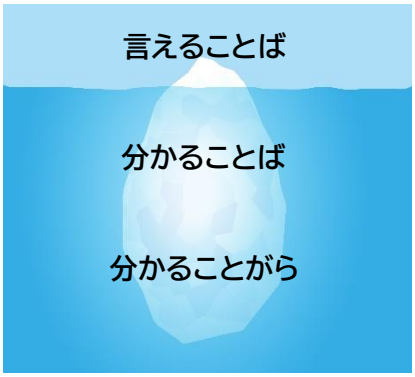
## ６月は新聞紙遊び

新聞紙を破いたり、丸めたり、小さくちぎった後は高いところから降らせてみたり、音や感触、見た目の変化などを楽しみます。最後はビニール袋に入れて大きなボールを作って全身で遊びます。



細く丸めた新聞紙をたくさん用意して支柱にすると、テントが作れます♪工作が好きな方は、お家遊びに是非試してみてください。

ことばは「分かるのが先、言えるのが後」と言われます。まずはいろいろな経験の積み重ねによって、「分かることがら」「分かることば」を増やすことが大切です。

いろんな体験を共有する中で、「伝えたい気持ち」が育つと、子どもたちのコミュニケーションの力も育ちます。

お仕事などで忙しい毎日ですが、親子でゆっくり目を合わせ、笑顔を共有できる時間を毎日少しずつでも持てるといいですね。